

2014年度第3四半期決算について

<損益実績(連結)>

(単位:億円)

	2014.3/四				2014.2/四 →2014.3/四
	累計	1/四	2/四	3/四	
売上高	41,817	13,614	14,170	14,032	- 138
経常利益	3,431	743	1,020	1,668	※1 + 648
特別損益	※2 ▲ 783	-	▲ 49	▲ 734	- 685
当期純利益	1,535	483	639	413	- 226
<一株当たり当期純利益>	< 16.8 >	< 5.3 >	< 7.0 >	< 4.5 >	< - 2.5 >
有利子負債		21,805	20,779	20,402	- 377
D/Eレシオ		0.80	0.74	0.71	-0.03

<諸元>

(1)当社

	2014.3/四				2014.2/四 →2014.3/四
	累計	1/四	2/四	3/四	
連結粗鋼生産量(万吨)	3,586	1,186	1,216	1,183	- 33
単独粗鋼生産量(万吨)*1	3,408	1,129	1,159	1,120	- 39
鋼材出荷量(万吨)*1	3,143	1,043	1,068	1,032	- 35
鋼材価格(千円/t)*1	87.4	87.6	86.0	88.7	+ 2.7
為替(円/\$)	106	102	103	113	10円安

*1 日鉄住金鋼鉄和歌山を含む

(2)全国

粗鋼生産量(万吨) *2	8,310	2,767	2,789	2,754	- 35
(うち高炉系)	(6,413)	(2,122)	(2,190)	(2,102)	(- 88)
鋼材消費(万吨) *2	4,825	1,593	1,614	1,618	+ 4
(うち製造業)	(3,036)	(1,013)	(1,018)	(1,006)	(- 12)
<製造業比率>	< 62.9% >	< 63.6% >	< 63.1% >	< 62.2% >	< - 0.9% >
普通鋼鋼材消費(万吨)	3,838	1,262	1,284	1,292	+ 8
建設	1,698	551	566	582	+ 16
製造業	2,140	712	718	710	- 9
特殊鋼鋼材消費(万吨)	987	330	330	327	- 3
国内メーカー間在庫(万吨)		583	593	*3 595	+ 2
薄板三品在庫(万吨)		420	431	*3 425	- 5

*2 当社推定値、*3 11月末確報

※1 連結経常利益の対前四半期分析

2014.2/四
→2014.3/四

連結経常利益 差異 +650

1. 製鉄事業 +610

① 生産出荷	- 100
② 販売価格・構成	- 350
③ 原料価格(キャリアオーバー含む)	+ 350
④ 物流費・電力他コストアップ	~
⑤ コスト改善(統合効果含む)	+ 10
⑥ 在庫評価差	+ 70
⑦ グループ会社	+ 10
⑧ 為替影響(ストック等)	+ 160
⑨ その他(3/四期一過性・期間差影響等)	+ 460

2. 非鉄事業 +30

3. 調整額 +10

※2 特別損益内訳

	2014.3/四				2014.2/四 →2014.3/四
	累計	1/四	2/四	3/四	
特別損益合計(連結)	▲ 783	-	▲ 49	▲ 734	- 685
投資有価証券売却益	61	-	52	9	- 43
設備休止関連損失	▲ 158	-	▲ 101	▲ 57	+ 44
関係会社事業損失	▲ 686	-	-	▲ 686	- 686

<セグメント情報>

(単位:億円)

	2014.3/四				2014.2/四 →2014.3/四
	累計	1/四	2/四	3/四	
売上高	41,817	13,614	14,170	14,032	- 138
製鉄	37,008	12,189	12,472	12,345	- 127
エンジニアリング	2,445	754	798	892	+ 94
化学	1,657	521	601	535	- 66
新素材	273	90	92	90	- 2
システムソリューション	1,431	447	501	482	- 19
調整額	▲ 998	▲ 389	▲ 295	▲ 314	- 19

経常利益	3,431	743	1,020	1,668	+ 648
製鉄	3,080	710	881	1,488	+ 607
エンジニアリング	127	19	28	78	+ 50
化学	63	8	35	20	- 15
新素材	19	4	7	7	+ 0
システムソリューション	111	32	40	39	- 1
調整額	28	▲ 31	26	33	+ 7

2014年度業績見通しについて

<損益見通し(連結)>

(単位:億円)

	2014FY 見通し					2014上実 → 2014下見	2013FY 実績	2013FY実 → 2014FY見	2014FY見 (10/30公表)
	上実	下見	3/四	4/四見					
売上高	56,500	27,784	28,716	14,032	14,684	+ 932	55,161	+ 1,339	56,500
経常利益	4,100	1,763	2,337	1,668	669	※1 + 574	3,610	※2 + 490	4,000
当期純利益	1,800	1,122	678	413	265	- 444			2,500
<一株当たり当期純利益>	< 20>	< 12.3>	< 7>	< 4.5>	< 3>	< - 5>			< 27>

<諸元>

連結粗鋼生産量(万t)	4,760程度	2,402	2,360程度	1,183	1,180程度	- 42程度	4,816	- 56程度	4,860程度
単独粗鋼生産量*(万t)	4,520程度	2,288	2,230程度	1,120	1,110程度	- 58程度	4,567	- 47程度	4,610程度
鋼材出荷量*(万t)	4,210程度	2,111	2,100程度	1,032	1,070程度	- 11程度	4,202	+ 8程度	4,290程度
鋼材価格*(千円/t)	87程度	86.8	87程度	88.7	86程度	~	86.0	+ 1程度	86程度
為替(円/\$)	108程度	103	114程度	113	115程度	11円安程度	100	8円安程度	105程度

* 日鉄住金鋼鉄和歌山を含む

(参考)セグメント情報

(単位:億円)

売 上 高	56,500	27,784	28,716	14,032	14,684	+ 932	55,161	+ 1,339	56,500
製 鉄	50,000	24,662	25,338	12,345	12,993	+ 676	48,779	+ 1,221	50,000
エンジニアリング	3,300	1,553	1,747	892	855	+ 194	3,141	+ 159	3,200
化学	2,100	1,122	978	535	443	- 144	2,301	- 201	2,300
新 素 材	360	182	178	90	88	- 4	372	- 12	360
システムソリューション	1,950	948	1,002	482	520	+ 54	1,798	+ 152	1,950
調 整 額	▲ 1,210	▲ 684	▲ 526	▲ 314	▲ 212	+ 158	▲ 1,231	+ 21	▲ 1,310
経 常 利 益	4,100	1,763	2,337	1,668	669	+ 574	3,610	+ 490	4,000
製 鉄	3,670	1,591	2,079	1,488	591	+ 488	3,212	+ 458	3,550
エンジニアリング	165	48	117	78	39	+ 69	177	- 12	165
化学	60	43	17	20	▲ 3	- 26	100	- 40	90
新 素 材	20	11	9	7	2	- 2	13	+ 7	20
システムソリューション	155	72	83	39	44	+ 11	127	+ 28	155
調 整 額	30	▲ 5	35	33	2	+ 40	▲ 21	+ 51	20

※1 連結経常利益差異の内訳

2014上実
→2014下見

連結経常利益 差異	+570
1. 製鉄事業	+480
① 生産出荷	-100
② 販売価格・構成	-1,000
③ 原料価格(キャリアオーバー含む)	+1,250
④ 物流費・電力他コストアップ	-100
⑤ コスト改善(安定化対策含む)	+50
⑥ 在庫評価差	-60
⑦ グループ会社	-60
⑧ 為替影響(ストック等)	+170
⑨ その他(高炉改修影響戻り等)	+330
2. 非鉄事業	+50
3. 調整額	+40

※2 連結経常利益差異の内訳

2013FY実
→2014FY見

前回
→今回

連結経常利益 差異	+490	+100
1. 製鉄事業	+460	+120
① 生産出荷	-50	-250
② 販売価格・構成	-1,200	~
③ 原料価格(キャリアオーバー含む)	+2,250	+250 (市況品等)
④ 物流費・電力他コストアップ	-400	~
⑤ コスト改善(安定化対策含む)	+600	-200
⑥ 在庫評価差	-420	+40
⑦ グループ会社	+140	+10
⑧ 名古屋 停電・コークス炉火災事故影響	-240	~
⑨ 為替影響(ストック等)	~	+100
⑩ その他	-220	+170
	(統合関連費用等)	
2. 非鉄事業	-20	-30
3. 調整額	+50	+10

【剰余金の配当方針について】

当期末の剰余金の配当につきましては、平成27年3月期第2四半期決算発表時点において未定としておりましたが、既公表の配当方針に従い、当期の業績見通し等を踏まえ、1株につき3円(年間配当金としては1株につき5円、連結配当性向25%)とさせていただきます。

(注) 上記予想には本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

《参考》既公表案件について

1.事業統合及び再編に関する公表案件

・既実行案件

年度	時期	案件
2013年度	2013.4月	(日鉄住金物流(株)の発足) 日鐵物流(株)と住友金属物流(株)の統合再編
	2013.4月	(日鉄住金テクノロジー(株)の発足) (株)日鐵テクノリサーチと住友金属テクノロジー(株)の統合
	2013.4月	(日鉄住金神鋼シャ어링(株)の発足) (株)日鐵神鋼シャ어링と(株)シーヤリング工場の合併
	2013.9月	(日鉄住金直江津チタン(株)の設立) チタン素材溶解事業に関する東邦チタニウム(株)との合併
	2013.10月	(日鉄住金鋼管(株)の発足) 住友鋼管(株)と日鐵鋼管(株)の合併
	2013.10月	(日鉄住金物産(株)の発足) 住金物産(株)及び日鐵商事(株)の経営統合
	2013.10月	(日鉄住金テックスエンジ(株)の発足) 太平工業(株)及び(株)日鐵エレックスの経営統合
	2014.1月	(新日鐵住金グループにおける電縫管事業の再編) 海外事業会社の管理一元化
2014年度	2014.4月	(当社製鉄所組織の統合・再編成) 製鉄事業競争力の更なる強化を目的とした当社製鉄所組織の統合・再編成
	2014.4月	(新日鐵住金グループにおける電縫管事業の再編) 販売品種の再編・最適化
	2014.7月	(新日鐵住金グループにおけるスラグ販売会社の統合・再編) スラグ販売会社4社の事業統合・再編
	2014.10月	(新日鐵住金グループにおける設備エンジ・保全系会社の経営統合) 設備エンジ・保全系 当社連結子会社8社の経営統合
	2015.1月	(子会社株式の譲渡) 日鉄住金エレクトロデバイス(株)の全株式の日本ガイシ(株)への譲渡

・その他既公表案件等

年度	時期	案件
2014年度	2014.12月末～ (2014.5月公表)	(新日鐵住金グループにおける電縫管事業の再編について) 国内生産体制の最適化
2015年度	2015.4月 (2014.7月公表)	(新日鐵住金グループ会社の鉄道関連事業の統合再編(基本合意)について) 鉄道エンジニアリング事業の統合再編及び製鋼所製造プロセス会社としての統合再編

2.主要な海外事業投資の進捗

社名(%: 当社グループ出資比率)			投資額 *	主要設備	製造能力	FY13	FY14	FY15
自動車用鋼板等	 AM/NS Calvert (アメリカ) (ArcelorMittal とのJV)	50%	約 15.5億\$ (買収金額総額)	熱延、冷延 CGL等	530万ト/年 -熱延	★ 14/2		
	 TENIGAL (メキシコ) (Ternium とのJV)	49%	約 300百万\$	CGL	40万ト/年	★ 13/8		
	 JCAPCPL (インド) (TATA とのJV)	49%	約 400億円	CAPL	60万ト/年		★ 14/5	
	 KNSS (インドネシア) (PTKS とのJV)	80%	約 300百万\$	GAPL	48万ト/年			FY17 稼働開始
	 NSGT (タイ)	100%	約 300百万\$	CGL	36万ト/年	★ 13/10		
	 ICI (アメリカ) (No4 鍛造プレスライン新設)	80%	約 46百万\$	No4 鍛造 プレスライン	約 130万本/年	鍛造プレス能力 (270万本→400万本)		★ FY15稼働開始
	 BNA (中国) (宝钢 とのJV)	50%	約 11 億元	No4 CGL 新設	42万ト/年	CGL能力 (125万ト→167万ト)		★ FY15稼働開始
建材	 NSBS (シンガポール他) (BlueScope とのJV)	50%	554百万\$ (グループ総額)	CGL等	140万ト/年 -CGL	★ 13/3 JV設立		
	 CSVC (ベトナム) (CSC とのJV)	30%	約 1,150百万\$ (JV 合計額)	CDCM	120万ト/年	★ 13/4		
	 KOS (インドネシア) (大阪製鐵とPTKS とのJV)	80%	約 200百万\$	中小形形鋼、 鉄筋棒鋼、平鋼	約 50万ト/年			FY16 稼働開始
鋼管	 VAM® BRN (ブルネイ) (BSP とのJV) NEW	未定	約 36百万\$	小径ネジ切りライン、 中径ネジ切りライン	1.8万ト/年			FY16 稼働開始

* 合併契約締結時、又は意思決定時における公表数値。

新日鐵住金株式会社

コード番号 5401 上場取引所 東京、名古屋、札幌、福岡

問合せ先 責任者役職名 広報センター所長

氏 名 高橋 望

TEL (03)6867-2130

< 2015年3月期 第3四半期決算 補足情報 >

〔全国〕

1. 粗鋼生産量

単位:万トン

	前期			当期			年度
	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	
2013年度	2,808	2,774	5,582	2,814	2,757	5,571	11,152
2014年度	2,767	2,789	5,556	2,754	()2,730程度	5,484程度	11,040程度

()経済産業省見通し

2. 在庫推移

	国内メーカー在庫 (在庫率)		薄板三品：熱延+冷延+表面処理 万トン	ときわ会H形鋼 万トン
	万トン	%		
2012.12末	546	(151.9)	392	17.9
2013.1末	549	(146.0)	397	17.7
2013.2末	541	(146.3)	383	18.7
2013.3末	541	(125.8)	385	19.7
2013.4末	544	(143.0)	382	19.2
2013.5末	548	(135.9)	383	19.7
2013.6末	561	(146.0)	386	19.7
2013.7末	536	(127.3)	376	19.0
2013.8末	554	(147.1)	392	18.6
2013.9末	553	(133.5)	388	18.7
2013.10末	561	(135.0)	388	18.0
2013.11末	549	(125.5)	382	18.0
2013.12末	565	(138.5)	393	18.5
2014.1末	576	(136.4)	409	20.0
2014.2末	573	(140.7)	399	22.0
2014.3末	568	(126.6)	411	23.4
2014.4末	567	(139.0)	413	22.9
2014.5末	579	(143.7)	424	23.1
2014.6末	583	(142.8)	420	22.1
2014.7末	558	(130.9)	410	21.5
2014.8末	593	(163.1)	433	21.1
2014.9末	593	(144.0)	431	21.3
2014.10末	587	(137.9)	425	20.8
2014.11末	595	(150.1)	425	20.6

〔当社〕

3. 出銑量（当社＋北海製鉄＋日鉄住金鋼鉄和歌山）

単位：万トン

	第1四半期		上期	第3四半期		下期	年度
	第1四半期	第2四半期		第4四半期	第4四半期		
2013年度	1,130	1,147	2,277	1,141	1,062	2,203	4,480
2014年度	1,105	1,160	2,264	1,135	1,110程度	2,250程度	4,510程度

4. 粗鋼生産量

【連結ベース】 当社＋国内連結子会社

単位：万トン

	第1四半期		上期	第3四半期		下期	年度
	第1四半期	第2四半期		第4四半期	第4四半期		
2013年度	1,213	1,214	2,427	1,226	1,163	2,389	4,816
2014年度	1,186	1,216	2,402	1,183	1,180程度	2,360程度	4,760程度

【参考：単独ベース】 当社＋日鉄住金鋼鉄和歌山

単位：万トン

	第1四半期		上期	第3四半期		下期	年度
	第1四半期	第2四半期		第4四半期	第4四半期		
2013年度	1,150	1,152	2,302	1,163	1,101	2,264	4,567
2014年度	1,129	1,159	2,288	1,120	1,110程度	2,230程度	4,520程度

5. 鋼材出荷量（当社＋日鉄住金鋼鉄和歌山）

単位：万トン

	第1四半期		上期	第3四半期		下期	年度
	第1四半期	第2四半期		第4四半期	第4四半期		
2013年度	1,029	1,068	2,097	1,038	1,067	2,105	4,202
2014年度	1,043	1,068	2,111	1,032	1,070程度	2,100程度	4,210程度

6. 鋼材平均価格（当社＋日鉄住金鋼鉄和歌山）

単位：千円/トン

	第1四半期		上期	第3四半期		下期	年度
	第1四半期	第2四半期		第4四半期	第4四半期		
2013年度	82.5	86.3	84.4	86.7	88.4	87.6	86.0
2014年度	87.6	86.0	86.8	88.7	86程度	87程度	87程度

7. 鋼材輸出比率（金額ベース）（当社＋日鉄住金鋼鉄和歌山）

単位：%

	第1四半期		上期	第3四半期		下期	年度
	第1四半期	第2四半期		第4四半期	第4四半期		
2013年度	49	47	48	45	45	45	46
2014年度	46	47	46	48	48程度	48程度	47程度

8. 為替レート

単位:円/\$

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2013年度	98	98	98	100	103	102	100
2014年度	102	103	103	113	115程度	114程度	108程度

9. 設備投資額(工事ベース)及び減価償却費

【連結ベース】

単位:億円

	設備投資額	減価償却費
2013年度	2,570	3,318
2014年度	3,050程度	3,200程度

以 上